

第5学年西組 国語科学習指導案

学習指導者 西吉 亮二

1 単元名 「人物像を紹介カードで伝えよう ～『手塚治虫』～」

2 単元について

(1) 目指す子供の姿

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

自分が選んだ伝記における登場人物の人物像を友達に紹介するために、言葉による見方・考え方を働かせながら、登場人物に関する複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方を総合して判断し人物像を想像する。想像した人物像とその理由について友達と話し合うことで、人物像を再考し、より豊かに想像する。そして、他の伝記についても登場人物の人物像を想像している。

知識・技能

学びに向かう力・人間性等

思考力・判断力・表現力等

思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係について理解し、語彙を豊かにする。また言葉の使い方に対する感覚等を意識して、語や語句を使う。

言葉がもつよさを認識するとともに、進んで様々な伝記を読み、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。

本単元では、伝記に描かれた登場人物の人物像を想像し、想像した人物像とその理由等をカードにまとめ、友達に紹介するという言語活動を設定する。その中で、登場人物の人物像を想像するおもしろさに気づき、様々な伝記を進んで読んでいく。人物像を想像するには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方を総合して判断する必要がある。まずは、共通教材『手塚治虫』で人物像をどのように想像していくかを学ぶ。その後、自分が選んだ伝記についても、共通教材での学びを生かし、人物像を想像していく。その際、例えば、伝記『マザーテレサ』を読んだ子供が「その人の命が残り数時間でも『周りの人からも、神様からも、自分はだいに思われているのだと知ってもらいたい…』と言ったところや、ノーベル賞の授賞式にインドでは一番低い身分の人が着る白いサリーで行き、『わたしは、こんなすばらしい賞をお受けできるような者では…』と言ったところから、貧しい人を守る優しさと謙虚さを常にもっている人だと思ったよ。白いサリーという言葉から謙虚という意味が伝わってくるよ」等と言葉と言葉との関係をその意味や働き等に注目して捉え、人物像を想像していく。そして、同じ叙述を選んだ子供同士が人物像とその理由について話し合う場合には、「私も〇〇さんと同じで『周りの人からも…』や『わたしは、こんなすばらしい賞をお受けできるような…』等の文章から、テレサの人物像は「全ての人に平等に接し、どんなときも自分の信念を貫く人だと思ったよ。たとえ、あと数時間しか生きられない人に対しても、最後まで大事に接していることと、ノーベル賞を受賞しても、自慢することなく白いサリーで活動し続けているからだよ」「なるほど、同じ文章でも想像する人物像は違うことがあるんだね」等と人物像を豊かに想像していく。このように、人物像をより豊かに想像する経験を積むことで自信が高まり、様々な伝記でも、進んで人物像を想像していくのである。

(2) 子供の実態

メタ認知に関する実態調査から、学習する前に見通しをもち、計画的に取り組んでいくことを苦手だと感じている子供が34名中9名いることが分かった。また、国語科の授業において、人物像を捉えるとき、物語全体の中の複数の叙述をつないで考えている子供が6名いる。その一方、多くの子供が特に印象に残った一つの場面や出来事から人物像を考えており、人物像を一面的に捉えていることが多い。授業中の協働については、友達と話し合ったり、協力して課題を解決したりすることは重要だと感じており、その理由として、「自分が気付いていない考えに気付くことができる」や、「自分の考えに自信をも

つことができる」等を挙げている。しかし、協働場面で自分の思いを友達に伝えることが苦手な子供が数名いることから、班で交流する際には人間関係等の配慮が必要である。

(3) メタ認知を促す働きかけ

① 課題設定以前

第1時に、人物像をカードにまとめ友達に紹介する計画を立てる。そこで、各時間の始めに、立てた計画を基に、できたこととこれからすることを確認し、「前の時間は『手塚治虫』の人物像を想像することができたから、次は自分が選んだ『マザー・テレサ』の人物像を考えるよ」等と本時取り組むべき課題の妥当性を感じながら学習を意欲的に進めるようにする。【現所在地確認タイム】(2～8時間目)

② 課題解決中

ホワイトボードを用いて想像した人物像とその理由となる性格や考え方が表れている複数の叙述が友達に一目で分かるように集約して示し、人物像やその理由の共通点や相違点に気付くことができるようにする。そうすることで、同じ叙述を基にしていても、その捉えが異なっていることで想像した人物像が多様にあることや、違う叙述を基にしていても想像した人物像の共通するところに気付き、自分の考えを再考していこう。【人物像会議】(5,6時間目)

③ 課題解決後

できたこと・分かったこととその理由、さらに取り組みたいことの観点で振り返りを行う。できたこと・分かったこととして、参考になった友達の考えや、文章全体から出来事を選んだことで人物像について新たに気付いたこと等を表出し、それらを班や全体で共有し、学び方のよさを実感できるようにする。【見付けタイム】(1～9時間)

3 単元計画 (総時数 9時間)

共通教材での学び方を生かす場を複数回設定し、人物像を想像することの自信を高める。さらに、友達を選んだ伝記についての人物像を聞くことで、これまで興味をもっていなかった伝記にも興味をもち、様々な伝記を進んで読もうとする意欲を育てたい。

次	学習の流れ及び主な子供の意識
第一次	<p>①② 人物像紹介カードで〇〇について紹介する計画を立てよう</p> <p>自分の選んだ伝記を読み、登場人物の人物像をカードにまとめ、紹介するという単元の目標を設定する。そして、学級全体で学習の計画を立てる。</p>
	<p>③④⑤ 手塚治虫はどんな人生を歩んだのか読み、人物像をカードにまとめよう</p> <p>『手塚治虫』を詳しく読み、行動や会話、様子などを表している複数の叙述から手塚治虫の性格や考え方を捉える。次に、性格や考え方を総合して人物像を想像し、カードにまとめる。そして、自分が選んだ伝記についても登場人物の行動や会話、様子などの叙述を見つけ、人物像を想像する際の性格や考え方を捉えていく。</p>
第二次	<p>⑥ 自分が選んだ伝記で、人物像をカードにまとめよう (本時6/9)</p> <p>前時までの学習を基に、自分が選んだ伝記における登場人物の人物像をまとめる。人物像と、それを考えた理由について同じ伝記を選んだ友達と話し合う。友達の想像した人物像やその理由を聞くことで、人物像の多面性に気付き、より豊かに想像して、カードにまとめる。</p>
	<p>⑦ 完成した人物像紹介カードを交流しよう</p> <p>自分が選んだ伝記に描かれている人物像についてまとめたカードを友達と紹介し合うことで、友達から紹介してもらった人物についての伝記に興味をもち、その伝記を読んでいく。</p>
第三次	<p>⑧ さらに読んだ伝記に描かれている人物像について友達と交流しよう</p> <p>読んだ伝記に描かれている人物像について、カードにまとめ、友達と交流する。人物像を想像する経験を繰り返し積み、人物像を想像する自信が高まることで、さらに様々な伝記を読もうとするだろう。</p>
	<p>⑨ もっといろいろな伝記を人物像を想像しながら読もう</p> <p>さらに興味を広げ、様々な伝記を読んでいく。</p>

4 本時の学習指導

(1) 目標

自分が選んだ伝記に描かれている登場人物の行動や会話、様子などを表す複数の叙述を結び付け、性格や考え方を捉え、それらを基に人物像を想像することができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	主な子供の意識		
<p>1 学習課題を確認する。 【現在地確認タイム】</p>	<p>前の時間はみんなで手塚治虫の人物像をカードにまとめたよ。 次は、自分が選んだ伝記で、人物像を想像していくよ。</p> <p style="text-align: center;">自分が選んだ伝記で、人物像をカードにまとめよう</p>		
<p>2 複数の叙述を基に、人物像を想像する。 (1) 自分で想像する。 (2) 友達と話し合いながら人物像を再考し、カードにまとめる。 【人物像会議】</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>マザー・テレサ</p> <p>「ここでやりましょう…」と「いたずら…」等から行動力とユーモアにあふれた人だと思うよ。</p> <p>「この世の中に生まれ…」と「わたしは、命…」等から全ての命を大切にした人だと思うよ。</p> <p>普通は考えつかないことにもチャレンジするユーモアを感じたよ。</p> <p>赤ちゃんも老人も区別なく、大切にしているのがよく伝わるよ。</p> <p>ユーモアと行動力に注目していたけれど、人のためという熱い思いがあったんだね。</p> <p>命のために行動していることに注目していたけれど、そんな一面もあるんだね。</p> <p>愛と行動力で世界を包んだ人だね。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>宮沢賢治</p> <p>「人のいやがる…」と「こまっている…」等から優しい心で生きる道を探し続けた人だと思うよ。</p> <p>「お父さん、…」と「いくら人が…」等の文から自分の追い求める生き方のために家族に甘えた人だと思うよ。</p> <p>誰かのためと云いながら、両親には、甘えていてることが伝わってきたよ。</p> <p>仏教に興味をもち、人のため生きていたいと思っていたのがわかるよ。</p> <p>自分より人のため生きたことに注目したけど人間らしい甘さももっていたんだね。</p> <p>親が支えてくれたからこそ、仏教の教えを基にした生き方を追うことができたんだね。</p> <p>人間らしい弱さももった人だったんだね。</p> <p>人のために生きる人生を目指した人だったね。</p> </td> </tr> </table>	<p>マザー・テレサ</p> <p>「ここでやりましょう…」と「いたずら…」等から行動力とユーモアにあふれた人だと思うよ。</p> <p>「この世の中に生まれ…」と「わたしは、命…」等から全ての命を大切にした人だと思うよ。</p> <p>普通は考えつかないことにもチャレンジするユーモアを感じたよ。</p> <p>赤ちゃんも老人も区別なく、大切にしているのがよく伝わるよ。</p> <p>ユーモアと行動力に注目していたけれど、人のためという熱い思いがあったんだね。</p> <p>命のために行動していることに注目していたけれど、そんな一面もあるんだね。</p> <p>愛と行動力で世界を包んだ人だね。</p>	<p>宮沢賢治</p> <p>「人のいやがる…」と「こまっている…」等から優しい心で生きる道を探し続けた人だと思うよ。</p> <p>「お父さん、…」と「いくら人が…」等の文から自分の追い求める生き方のために家族に甘えた人だと思うよ。</p> <p>誰かのためと云いながら、両親には、甘えていてることが伝わってきたよ。</p> <p>仏教に興味をもち、人のため生きていたいと思っていたのがわかるよ。</p> <p>自分より人のため生きたことに注目したけど人間らしい甘さももっていたんだね。</p> <p>親が支えてくれたからこそ、仏教の教えを基にした生き方を追うことができたんだね。</p> <p>人間らしい弱さももった人だったんだね。</p> <p>人のために生きる人生を目指した人だったね。</p>
<p>マザー・テレサ</p> <p>「ここでやりましょう…」と「いたずら…」等から行動力とユーモアにあふれた人だと思うよ。</p> <p>「この世の中に生まれ…」と「わたしは、命…」等から全ての命を大切にした人だと思うよ。</p> <p>普通は考えつかないことにもチャレンジするユーモアを感じたよ。</p> <p>赤ちゃんも老人も区別なく、大切にしているのがよく伝わるよ。</p> <p>ユーモアと行動力に注目していたけれど、人のためという熱い思いがあったんだね。</p> <p>命のために行動していることに注目していたけれど、そんな一面もあるんだね。</p> <p>愛と行動力で世界を包んだ人だね。</p>	<p>宮沢賢治</p> <p>「人のいやがる…」と「こまっている…」等から優しい心で生きる道を探し続けた人だと思うよ。</p> <p>「お父さん、…」と「いくら人が…」等の文から自分の追い求める生き方のために家族に甘えた人だと思うよ。</p> <p>誰かのためと云いながら、両親には、甘えていてることが伝わってきたよ。</p> <p>仏教に興味をもち、人のため生きていたいと思っていたのがわかるよ。</p> <p>自分より人のため生きたことに注目したけど人間らしい甘さももっていたんだね。</p> <p>親が支えてくれたからこそ、仏教の教えを基にした生き方を追うことができたんだね。</p> <p>人間らしい弱さももった人だったんだね。</p> <p>人のために生きる人生を目指した人だったね。</p>		
<p>3 本時の学びを振り返る。 【見付けタイム】</p>	<p>同じ人物なのに、様々な叙述を基に考えると人物像がどんどん膨らむね。</p> <p>自分が選んだ文章にも、賢治の甘さと人のことを大切にしていることが伝わる部分があったよ。</p> <p>友達に聞いたことで、自分では気付いてなかったテレサの人物像に気付いたよ。</p> <p>友達の考えを聞くと、一つの叙述の中に様々な感じ方があることに気付いたよ。</p> <p>もっと友達が想像した人物像についても聞きたいよ。</p> <p>他の伝記でも人物像を想像してみたいな。</p>		

提案授業Ⅱ指導案
二日目

課題解決中

課題解決後

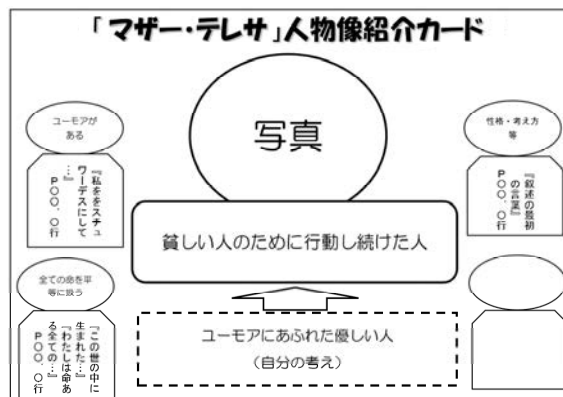
(3) 授業の詳細

前時までの子供の意識 学習活動1

前時までに共通教材『手塚治虫』の人物像を人物像紹介カードにまとめている。人物像を想像するには、行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方を捉えることが必要だと学んできた。そして、本時の導入では、第1時に立てた学習の計画を基に、前時までにできたこととこれからすることを確認することで、本時取り組むべき課題の妥当性を感じ、自分が選んだ伝記で、人物像をカードにまとめるという学習課題を共通理解する。【現在地確認タイム】

学習活動2

人物像を想像する際の手順を、『手塚治虫』での学習を基に振り返り、これから行う活動の見通しをもつ。子供たちは、前時までに並行読書を行い、自分が選んだ伝記に描かれている人物の行動や会話、様子などの叙述から、その人物像につながる性格や考え方を捉えている。まずは、自分で、印象に残っている行動や会話、様子などを表している叙述と、そこから伝わってくる性格や考え方から、人物像を表す短い言葉を考える。また、どのような手順で人物像を想像すればよいのか分からず活動に取りかかり



【人物像紹介カード】

にくい子供には、『手塚治虫』で用いた人物像紹介カードを提示し、共通教材で人物像を想像した時と同じ手順を確認したり、どの叙述に目を付けたかを一緒に確認したりする。

班での話し合いは、同じ伝記を選んだ友達とホワイトボードを囲んで行う。【人物像会議】このホワイトボードには、拡大した人物像紹介カードと教材文を掲示しておく。話し合いを行う班は、実態調査を基に学級内の人間関係にも配慮して編成している。班の中には自分の考えを明確にもっていない子供もいると考えられるため、友達の考えを聞くことから始めてもよいことを全体に確認する。話し合いでは、自分が想像した人物像とその理由を話し合う。その際、まず、人物像をホワイトボードに書いていく。次に、その人物像の理由となる印象に残った叙述を教材文の中から指し示しながら、友達との共通点や相違点を明らかにすることで、同じ叙述を選んでいるのに想像した人物像に違いがあることに気付いたり、違う叙述を選んでいるのに人物像に共通しているところがあることに気付いたりしていこう。そのように、友達と話し合う中で、自分が考えていた人物像を再考し、豊かに人物像を想像していく。

学習活動3

振り返りでは、できたこと・分かったこととその理由、さらに取り組みたいことの観点で振り返り、ノートに記述する。【見付けタイム】さらに、振り返ったことを班で話し合う場を設け、自分や友達の本時の学びの成果を見つめ、「『手塚治虫』で学んだことを思い出して、本時の人物像についても考えたよ」等と自分の課題への取り組み方や、「〇〇さんの人物像を聞いたから、自分が考えていなかったことに気付いたよ」等と協働したことが本時の学びの成果につながっていることを実感していく。そして、さらにチャレンジしたいことについても班で話し合う中で、次に取り組むべき課題への見通しをもっていく。課題解決を通して学び方のよさを実感した子供たちは、「もっと友達が想像した人物像についても聞きたい」や「もっと他の伝記でも、友達と話し合いながら人物像を考えたい」等の新たな問題を表出するだろう。それらを全体で取り上げ、共有し、次時の課題設定につなげていく。

(4) 評価

自分が選んだ伝記に描かれている人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、性格や考え方を捉えて人物像を想像し、それらについて友達と交流することでより豊かに人物像を想像している。 【方法：発言・カード】